

# このほんは

ねんぱん 5・6年版 No.200 たんてい・なぞの本 ほん

たから ち ず 宝の地図のひみつ - 4と1 / 2探偵局①-

えがく 作 絵 楽 ナオキ / 絵 すずき ひとこ 鈴木 仁子 / 訳 (ポプラ社)

カルステンは、勉強よりマンガが好きな少し気の弱い男の子。ふたごの女の子シュテファニーは背も高く体格もよく、成績も優しゅうなのでいつも親に比べられています。シュテファニーは、クラスメイトのカレと探偵局を作っていますが、カルステンは入れてもらえません。



そんな時、近所の赤ちゃんと散歩していると、不気味などうくつを見つけました。これでカルステンも、探偵局の仲間になれるでしょうか。

きょうばし 京橋 (3543) 9025

ちゅうおうくりつ 中央区立 日本橋 (3669) 6207 図書館

つきしま 月島 (3532) 4391

●ホームページアドレス

<http://www.library.city.chuo.tokyo.jp/>

刊行物登録番号 23-004

# エーミールと探偵たち

エーリヒ・ケストナー／作 高橋 健二／訳（岩波書店）

お母さんと二人暮らしのエーミールは、一人でベルリンの親類のところに行くことになった。お母さんから預かった大切なお金を、上着の内ポケットのおくの方にしまって列車に乗ったが、うっかりねむりこんだすきに、お金をぬすまれてしまった。エーミールは、同じ客車にいた山高ぼうの男が犯人にちがいないと思った。

列車を降りて男のあとを追いかけていると、警笛を鳴らす少年と出会う。少年の仲間と共にベルリンの街で、山高ぼうの男の追せきが始まった。



# お江戸の百太郎

那須 正幹／作 長野 ヒデ子／画（岩崎書店）

東京が『江戸』と呼ばれていたころのこと。本所亀沢町の長屋に住む百太郎の父ちゃん・千次は、おかつ引き（今でいう私立探偵のようなもの）をしていました。

ある日、材木問屋伊勢屋の番頭が、千次を訪ねてきました。昨日、亀戸天神に出かけた伊勢屋の末むすめお千賀ちゃんがさらわれ、返してほしくば三百両を持ってこいと書かれた手紙が届いた、ということです。

十二才の百太郎がのんびり屋の千次を手伝い、難事件を次つぎと解決します。



にちょうめ いぬ ご やとうなんじけん  
**二丁目の犬小屋盗難事件** 一夏休みだけ探偵団一  
しんじょう せつみ おおば けんや  
新庄 節美／作 大庭 賢哉／絵（日本標準）

夏休みに入って二週間目、じゅく仲間トンの愛犬・ペッタンあいけんの犬小屋が消えた。しかもトンの家がある二丁目では、他にも三つの犬小屋が消えていた。

どうやら犬小屋はぬすまれたらしい。「これは事件だ」とワトソンことわとたかし和戸尊は、同級生で探偵小説好きのふたごの姉妹・冴さえと麗れいが結成した『夏休みだけ探偵団』の探偵事務所に、トンと相談しに行った。

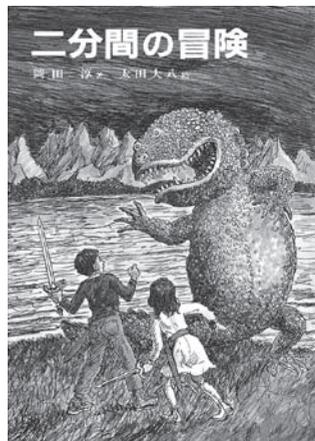
そこで二人も探偵団に入ることになり、まずはトンの家に行き、事件現場を調べ始めたが…。

にふんかん ぼうけん  
**二分間の冒険** おかだ じゅん／著 おおた だいち  
岡田 淳／著 太田 大八／絵（偕成社）

6年生の悟は、学校でふしぎな声に呼び止められた。声の主は黒ネコの『ダレカ』。足の裏にささったとげを抜いてくれれば、ひとつだけ願いをかなえてくれるという。

願いを考えるために「時間をおくれ」と口にした悟は、気づくと別の世界の深い森の中にいた。元の世界にもどるには、姿を変えてかくれたダレカを見つけ、つかまえなければならない。

森の広場で大勢の子どもたちに出会った悟は、クラスメイトにそっくりな女の子と共に、『リュウの館』を目指すことになった。



# ラクリッツ探偵団 -イエロー・ドラゴンのなぞ-

ユリアン・プレス／作・絵 あらかわ 荒川 みひ みひ／訳（講談社）

事件が大好きな仲よし3人組と、レース  
けい事、ラクリッツ屋のレオさんは、『ラク  
リッツ探偵団』を結成した。ラクリッツとは、  
ふしぎな味の黒いグミのことだ。

最初の事件は、古城で起きた。この世に  
12枚しかない貴重な銀貨がぬすまれてしま  
ったのだ。この事件が発覚する前、中庭に  
ニセの銀貨が落ちていたのを発見していた  
3人組は、さっそく調査を開始した。

ページをめくるごとに、事件のカギとな  
る絵がついてるよ。それを見て、みんなも事件を解決してね。



# リーコとオスカーともっと深い影

アンドレアス・シュタインヘーフェル／作 もりかわ 森川 ひろこ 弘子／訳（岩波書店）

リーコは、深い才能にめぐまれた男の  
子。考える時ほかの人より少し長い時間が  
必要なので、成長そく進センター（特別支  
えん学校）に通っている。

ある日、リーコが住んでいるアパートの  
歩道にマカロニが落ちていた。探偵ごっこ  
の好きな彼は、マカロニが落ちていたなぞ  
を考えていたとき、ヘルメットをかぶった  
少年・オスカーに出会い仲良くなった。

ところが、いっしょに遊ぶ約束をした日にオスカーは来なかった。  
最近子どものゆうかい事件が続いているので、リーコは心配になった。



# フクロウ探偵30番めの事件

ジェームズ・マーシャル／作・絵 小沢 正／訳（童話館出版）

フクロウの探偵エリナーは、ひと夏を過ごすために、ネコの助手ポーズといっしょに海辺の小さなホテルにやってきました。ホテルには、いろいろな動物たちがとまりにきています。おくれてやってきたのは、女ヒヒの4人組とモゾモゾ一家。ようやくお客がそろったと思ったら、不気味なことが次つぎと起き…。

ワクワクしてきたエリナーは、休みにきたのも忘れて、ポーズといっしょに事件のなどを解き始めます。



# 江戸のなぞ絵 一

—いろは・江戸名所ほか—  
岩崎 均史／著（汐文社）

『判じ絵』って、知っていますか？

ひじに木が生えている絵は『ひじき』。滝の絵の真ん中に『ぬ』の字が入っていたら『たぬき』。『つる』の上半分と『きじ』のあわさった絵は『築地』と、読むのです。

身近な道具や食べ物、江戸の名所など、色いろなものが表された判じ絵は、いわば『目で見るなぞなぞ』です。

しゃれやだじゃれを絵で表す、江戸時代の人々が楽しんだ言葉遊びに、あなたもちょう戦してみませんか。

